



うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)



コミュニティ・スクールについて

問 市内小中学校のコミュニティ・スクール化を進めようとしているが、それにより学校運営が大きく変わってくる。コミュニティ・スクールの必要性について。

教育長 学校が抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには社会総がかりでの教育の実現が不可欠。学校の目標やビジョンを地域住民と共有し、地域と保護者、学校とが一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことが重要。地域とともにある学校づくりに有効な手立ての一つだと考えている。

問 導入にあたって地域の理解を得ていくか。

教育長 学校運営協議会の趣旨や意義をしっかりと理解していただくことが第一歩。市や学校



ひらした なおき
平下 尚己
(明和)



公共物の落書きについて

問 道路構造物について、市民が落書きを見つけた時はどのようにすればよいか。

部長 直接手を加えず、施設管理者または警察へ速やかに通報してほしい。その後、市道は道路課が道路管理者として適切な対応をする。

問 防犯カメラを設置してはいかがか。

部長 落書き等の犯罪の再発及び抑制するために効果的であることから検討していく。

問 市民や団体、自治会が落書きを消すことや壁面美化の目的で絵を描くことはいかがか。

部長 むやみに落書きを消すことは施設の損傷や景観悪化を招く恐れがある。美化のために絵を描くことは個別事案として相談を受けたい。

市長 ボランティアの方や警察とも力を合わせて、落書きを撲滅する対応を進めたい。

ホームページへの掲載やPTA運営委員会や総会、学校だより等を活用して周知を進めている。

中学校部活動の地域移行について

問 小中学生のこどもやその保護者から不安の声を多く聞く。当市の考える地域移行とは。

教育長 令和5年度より設置した部活動のあり方検討委員会では、生徒が自身の興味関心に応じて部活動を選択し、多くの仲間と取り組む持続可能な部活動を検討している。令和6年度中に、地域移行に向けた環境整備、大会のあり方などについて提言をいただける。それに基づき令和7年度から（仮称）富士宮市部活動協議会を立ち上げ、本市ならではの地域連携、地域移行について検討して行く予定。

問 地域移行実施のタイムスケジュールは。

教育長 令和7年度からの（仮称）富士宮市部活動協議会で、地域連携、地域移行についての実施計画も策定する予定。詳細についてはまだ未定であるが、まずは休日の部活動から段階的な連携・移行を進めていきたいと考えている。

山宮ふじざくら球技場について

問 南側中央出入口の片開きのフェンスについて、広げる予定はいかがか。

部長 入退場をスムーズに行うため、今年度中に両開きのフェンスに改修をしたい。

問 人工芝のメンテナンスについて。

部長 年1回トラクター方式の大きな回転ブラシによる作業を委託しているが、簡易的な回転ブラシで日常のメンテナンスができる機械の導入を検討しており、芝の劣化を防いで、長くよりよい状態に保ちたいと考えている。

問 キッチンカー等出店スペースにコンセントを整備することはできないか。

部長 指定管理者や出店業者と話し合う機会を持たせていただきたい。

